

我が校の強み弱み分析・評価シート

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査結果

教科に関する調査からは、国語科、算数科ともに滋賀県の平均を上まわったものの、全国の水準を下まわりました。理科は全国の水準を下まわる滋賀県と同等の水準でした。また、無回答率が全国平均よりも高かったことは大きな課題と捉えています。児童質問紙からは、人間関係や生活に関しては肯定的な回答が目立ちました。

国語科の強み(○)と弱み(▲)

- 「読むこと」の領域は、全国平均を 1.1 ポイント上回りました。特に登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えることや、登場人物の相互関係について描写を基に捉えることができました。
- ▲「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域は、全国平均を 2.3 ポイント下回りました。学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題が見られました。
学習調査で出題された漢字…録画（正答率 60.6%）、反省（51.6%）、親しむ（63.9%）

算数科の強み(○)と弱み(▲)

- 「変化と関係」の領域は、全国平均を 1.8 ポイント上回りました。割合や比例の問題に対して理解度の高さが見られました。
- ▲「データの活用」の領域は、全国平均を 2.0 ポイント下回りました。目的に応じてデータの特徴を捉え考察することに課題が見られました。
- ▲記述式の問題は、全国平均を 2.6 ポイント下回りました。論理的に考えて整理してまとめることに課題が見られました。

児童質問紙より

- 学校へ行くのが楽しいと思っている児童が多いのが特長です。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多いのが特長です。
- 授業での ICT 機器の使用頻度は全国・県平均を大きく上回っています。
- ▲国語科、算数科の質問に対して、肯定的な回答が全国の数値よりも低いものが目立ちました。無回答率の高さと繋がる結果と見ています。

今後の指導の充実に向けて

- ・話す活動の充実を目指している段階から、話したことや考えたことを書いてまとめる時間を確保する授業づくりに努めます。
- ・学習規律を整え、授業中の学習従事時間を増やしていくよう努めます。